

第3回 南阿蘇村公立保育所のあり方検討委員会 会議録（概要）

日 時 令和4年12月13日（火）午前10時～

場 所 役場会議室

出席者 委員 笠野委員、今吉委員、今村竜委員、光永委員、長野委員、大塚委員、
松本委員、後藤委員、
事務局 子育て支援課、安達、渡辺

1、開 会 今吉副委員長

2、挨拶 笠野委員長

- ・最近、コロナにより職員も感染が増えておりますが、年末を迎え健康に留意して頂きますようお願い申し上げます。
- ・本日は、第3回の検討委員会ということで、保護者アンケートの結果等について説明がありますので、最後までご審議をよろしくお願いいたします。

3、議 事 笠野委員長

（委員長）

- ・保護者アンケートの結果について、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

- ・会議資料1をご覧ください。保護者アンケート結果について、事前に各委員に配布しておりますが、少し時間を頂いてご説明をいたします。
- ・アンケートの目的は、今後の公立保育所のあり方を検討するために保護者の意見を徴収したものです。
- ・アンケート期間は10月11日～10月31日で、回収率は85.5%となり、多くの保護者から意見を頂く結果となりました。
- ・「お子様の園への通園手段」についての設問では、86%の保護者が自家用車での送迎という結果となりましたが、この結果は家庭で見守る人がいなく、通園バスの利用が出来ないご家庭が多いことによるものだと思います。
- ・次に「お子様が通っている園を選んだ理由」についての設問では、自宅が近いからが最も多く32%でした。
- ・次に「通われている園について、どのように思っているか」についての設問では、概ね高い評価を頂く結果となりましたが、「侵入者、不審者の対応」と「保育園行事等」の項目について、「普通」の評価であったので、今後の各園において点検・検証を行いたいと思っております。

- ・次に「今後、実施してもらいたい保育サービス」についての設問では、一番多かったのが「病児保育」で23%、次に多いのが「休日保育」の18%でした。
- ・次に「保育園に入所するとき、保育園の人数が気になりましたか」についての設問では、84%が特に気にならなかったという結果となりました。
- ・次に「保育園の統合について」の設問では、「どちらかといえば反対」が29%で最も多く、次に多いのが「賛成」で19%でした。また、「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせると36%となり、「反対」、「どちらかといえば反対」を合わせると39%となりましたが、「どちらでもいい」16%を合わせると、それぞれ50%を超える結果となりました。
- ・次に「賛成」、「どちらかといえば賛成」を選んだ方に統合する場合に期待することについての設問では、「ともだちが増え成長が期待できる」が30%で最も多く、次に多いのが「保育環境が整い、生活環境がよくなる」で26%でした。
- ・次に「賛成」、「どちらかといえば賛成」を選んだ方にどのような形の統合がよいかの設問では、「3園のうち2つの保育園を統合」が57%で最も多く、次に「3園を1つの保育園に統合」の41%となりました。
- ・次に「反対」、「どちらかといえば反対」を選んだ方に、統合しない方がよいと思うことについての設問では、「保育園が遠くなる」が最も多く35%で、次に多いのが「地域が広域になる」が15%となりました。
- ・次に「保育園の民営化の不安に思うこと」についての設問では、「保育料がどうなるのか」が最も多く26%でした。また、「保育園に期待すること」についての設問では、「保育サービスが向上する」が最も多く33%となりました。
- ・以上がアンケートの結果となります。

(委員長)

- ・保護者アンケートの結果について、資料1により事務局から説明を頂きました。
- ・それでは、保護者アンケートの結果について、皆さんから何かご質問がありましたらよろしくお願ひいたします。

(委員)

- ・アンケートの回収率も高く、関心も高かったのではないかと思います。
- ・保育園の統合及び保育園の民営化については、具体的に示すことが出来てなく抽象的な中でのアンケートであったため、難しかったのではないかと思います。
- ・保育サービスとして期待することの最も多かった「病児保育」については、重要視するべきではないかと思います。
- ・統合については、通園手段として「保護者の送迎」が一番多かったようですが、統合して5分、10分程度なら許容できると思いますが、30分もかかるなら影響が出ると思います。

(委員長)

・今回のアンケートは現保護者のアンケートでしたが、それ以外の方についての意見を聞く機会があったらいいと思います。

(委員)

・今回アンケートで保護者のさまざまな意見を聞くいい機会となったかと思います。

(委員)

・アンケートの結果を見て、今の状況が分かってきた部分があったかと思います。
・現在の公立保育所の運営に一定のご理解を頂いていることも分かりました。
・今後、統合等についても具体的に説明を行って行けばご理解を頂けるのではないかと思います。

(委員長)

・南阿蘇村には、小児科がないので議会においても働きかけていきたい。

(事務局)

・子どもの健診等については、阿蘇市の阿蘇医療センターにお願いしている状況です。

(委員長)

・他に質問がないようですので、次の公立保育所のあり方【素案】について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

・資料2より、公立保育所のあり方【素案】について説明を行った。
・1つ目の項目は、「策定の背景・趣旨」について明記
・2つ目の項目は、「公立保育所の現状と課題」について、①児童数の推移、②施設の状態、③運営経費について明記
・3つ目の項目は、「公立保育所のあり方に関する保護者アンケート」について抜粋を明記
・4つ目の項目は、「公立保育所のあり方」について、①保育サービスの充実について、②保育所の統廃合を検討する場合、③保育所の民営化を検討する場合についてを明記
・以上で説明を終わります。

(委員長)

・公立保育所のあり方について、資料2により事務局から説明を頂きました。
・それでは、公立保育所のあり方について、皆さんから何かご質問がありましたらよろしくお願いたします。

(委員)

・統合する場合に定員の中に、障害児、病児保育ができるような環境整備が出来ると思います。
・統合が予定されている保育園を民間に移管すれば、各地に保育園が残せることになると思います。

・村内に午前中でも診療ができる小児科をどこからか連れてくれば、村民の不安解消になるかと思います。

(事務局)

・保護者アンケートの中で要望が多かった病児保育等については、新たな施設整備な中で実施できる環境を整備することも可能かと思います。

(委員)

・共働きの家庭が多い状況も理解はしていますが、昔は家で見るが多かったかと思いますが、保護者の働きやすい環境を考えると必要な保育サービスだと思います。

(事務局)

・公立保育所のあり方【素案】を考えるうえで、保護者アンケートでの意見「保育園が遠くなる」等を最大限考慮して、どちらに統合するのではなく新設統合とし少しでも保護者の負担、不安を解消することに主眼を置きました。また、統合時期についても設置場所を確保する必要がありますので、今すぐではなく、くぎの保育園の建築年数が40年を迎える時期を目途といたしました。

・民営化については、移管先の事業者の経営状況次第では事業中止といったことも可能性としてあるので、セーフティーネットではありませんが1箇所は公立保育所として存続するのがいいのではないかと考えています。

(委員)

・民営化の場合は、移管先事業者の選定が難しいことも想定されるのではないですか。

(事務局)

・移管先事業者も民間になりますので採算がとれなければ、引き受けることは難しい状況で、本村の場合は児童数の減少により、定員を満たしていない状況が続いているので、その心配はあります。

(委員)

・長陽地区の保育園統合についても、いろいろ困難があって出来たのですが、スムーズに行く体制づくりが大切ではないかと思います。

(委員長)

・他に質問がないようですので、次のパブリックコメントについて事務局から説明をお願いします。

(事務局)

- ・資料3をご覧ください。
- ・予定としては、意見募集を令和5年1月上旬から下旬にかけて実施します。
- ・閲覧場所は、ホームページと公立3園、役場とします。
- ・パブリックコメントの結果を踏まえて、第4回に報告し最終案を取りまとめて頂きたいと思っております。

(委員長)

- ・パブリックコメントについて何にご質問はありませんか。
- ・特になし

(委員長)

- ・それでは、次回第4回の検討委員会の日時をお諮りいたします。
- ・次回第4回検討委員会は、令和5年2月15日（水）午前10時からの開催に決定しました。

4、閉 会 事務局